



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 吉水 あつ子

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,927	8.4	746	7.0	854	2.2	750	28.7
2021年3月期第2四半期	9,160	5.2	698	20.1	836	18.5	583	20.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,063百万円 (15.2%) 2021年3月期第2四半期 922百万円 (72.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	27.95	
2021年3月期第2四半期	21.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	23,697	19,043	80.2
2021年3月期	23,475	18,246	78.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 19,015百万円 2021年3月期 18,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		11.00	11.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	2.1	1,300	9.5	1,500	15.3	1,000	16.6	37.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	29,748,200 株	2021年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,896,419 株	2021年3月期	2,896,189 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	26,851,902 株	2021年3月期2Q	26,852,180 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い経済活動が大きく制限を受ける厳しい状況で推移いたしました。新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでいるものの、ブレイクスルー感染や変異株の拡大など、先行きは依然として不透明な状況であります。

精糖業界においては、砂糖消費の減少傾向に変わりはなく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全般的に厳しい販売環境が続いております。

この様な環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,927百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益746百万円（同7.0%増）、経常利益854百万円（同2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は750百万円（同28.7%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖

精糖事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がより大きかった前年同期と比べ、販売数量は増加し、増収となりました。しかしながら、利益面では急激な海外原糖相場の上昇に国内製品市況が追いつかず、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高5,349百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益574百万円（同33.2%減）の増収減益となりました。

#### ② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、機能性表示食品としての採用に加え、低糖質やタンパク質補強の採用も増えたことにより、国内販売及び海外販売が増加し、増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ㈱は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のなか、前年同期と比べ若干の増収を確保することができました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高4,125百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益352百万円（同169.7%増）の増収増益となりました。

#### ③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高287百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益267百万円（同37.0%増）の減収増益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

#### ④ その他食品

その他食品事業は、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高165百万円（前年同期比41.9%増）、営業利益3百万円（前年同期 営業損失8百万円）の増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、23,697百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

#### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、10,467百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、13,230百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

#### ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ10.5%減少し、3,252百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ12.2%減少し、1,401百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

#### ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4.4%増加し、19,043百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、3,874百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、448百万円(前年同期比47.2%減)となりました。これは主として、棚卸資産の増加はあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、240百万円(前年同期比25.5%減)となりました。これは主として、投資有価証券の取得による支出等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、284百万円(前年同期比31.1%減)となりました。これは主として、配当金の支払額等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の連結業績は、当初計画に対して若干のプラスで推移いたしました。2021年4月30日付け公表の2022年3月期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響を加味して作成しておりますが、現時点においては連結業績予想を変更するまでには至っていないと判断しております。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,667,721	3,574,390
受取手形及び売掛金	2,800,434	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	2,474,785
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	1,851,750	1,759,205
仕掛品	99,488	215,432
原材料及び貯蔵品	638,827	892,197
その他	1,177,944	1,253,079
貸倒引当金	△1,304	△1,838
流動資産合計	10,534,862	10,467,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	340,353	347,380
機械装置及び運搬具（純額）	201,776	209,635
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	15,582	12,138
その他（純額）	109,598	108,205
有形固定資産合計	3,194,747	3,204,795
無形固定資産		
のれん	2,716	-
その他	69,800	61,966
無形固定資産合計	72,516	61,966
投資その他の資産		
投資有価証券	7,406,626	7,821,630
長期貸付金	1,840	1,716
関係会社長期貸付金	1,792,800	1,806,300
退職給付に係る資産	36,672	51,917
その他	454,660	294,892
貸倒引当金	△19,078	△13,117
投資その他の資産合計	9,673,521	9,963,338
固定資産合計	12,940,785	13,230,101
資産合計	23,475,647	23,697,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,116,918	987,550
短期借入金	1,281,260	1,420,500
未払法人税等	322,732	61,220
賞与引当金	116,878	123,849
その他	795,145	658,935
流動負債合計	3,632,935	3,252,057
固定負債		
長期借入金	329,342	100,000
資産除去債務	76,885	77,363
その他	1,189,758	1,224,549
固定負債合計	1,595,986	1,401,913
負債合計	5,228,921	4,653,971
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	13,460,462	13,910,122
自己株式	△717,257	△717,384
株主資本合計	16,317,009	16,766,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,055,391	2,176,899
為替換算調整勘定	21,656	95,822
退職給付に係る調整累計額	△26,088	△23,403
その他の包括利益累計額合計	2,050,959	2,249,318
非支配株主持分	△121,242	27,523
純資産合計	18,246,726	19,043,383
負債純資産合計	23,475,647	23,697,354

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	9,160,689	9,927,154
売上原価	6,630,401	7,573,159
売上総利益	2,530,288	2,353,994
販売費及び一般管理費	1,831,988	1,607,100
営業利益	698,300	746,893
営業外収益		
受取利息	15,792	14,445
受取配当金	44,099	51,812
持分法による投資利益	78,166	112,370
その他	15,897	20,331
営業外収益合計	153,955	198,960
営業外費用		
支払利息	8,086	7,709
為替差損	7,620	83,293
その他	13	70
営業外費用合計	15,720	91,074
経常利益	836,535	854,779
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,278
特別利益合計	-	2,278
特別損失		
固定資産除却損	431	24
投資有価証券売却損	-	745
特別損失合計	431	770
税金等調整前四半期純利益	836,104	856,288
法人税、住民税及び事業税	273,370	41,976
法人税等調整額	△19,077	12,424
法人税等合計	254,292	54,401
四半期純利益	581,811	801,886
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,475	51,356
親会社株主に帰属する四半期純利益	583,287	750,530

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	581,811	801,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	337,395	177,757
為替換算調整勘定	△1,570	80,844
退職給付に係る調整額	5,003	2,685
その他の包括利益合計	340,828	261,287
四半期包括利益	922,640	1,063,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	924,107	1,006,950
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,466	56,223

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	836,104	856,288
減価償却費	130,384	64,845
のれん償却額	29,713	2,716
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,135	7,033
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△375	△5,426
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,045	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△11,385
受取利息及び受取配当金	△59,891	△66,257
支払利息	8,086	7,709
為替差損益(△は益)	7,620	83,293
持分法による投資損益(△は益)	△78,166	△112,370
固定資産除却損	431	24
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,533
売上債権の増減額(△は増加)	79,751	314,246
棚卸資産の増減額(△は増加)	△393,612	△295,894
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,674	△107,406
仕入債務の増減額(△は減少)	363,803	△122,791
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△332	△102,877
その他	△52,240	141,535
小計	868,769	651,750
利息及び配当金の受取額	85,368	94,058
利息の支払額	△8,623	△4,856
法人税等の支払額	△95,377	△292,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	850,136	448,923
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△87,647	△79,002
無形固定資産の取得による支出	△5,903	△9,809
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	7,933
投資有価証券の取得による支出	△248,237	△155,366
長期貸付金の回収による収入	449,600	446,775
長期貸付けによる支出	△430,000	△450,000
その他	-	△705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,188	△240,175
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	28,560	54,720
長期借入金の返済による支出	△136,436	△35,000
自己株式の取得による支出	-	△127
リース債務の返済による支出	△10,031	△9,007
配当金の支払額	△295,373	△295,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413,281	△284,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△115	△17,292
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	114,551	△93,330
現金及び現金同等物の期首残高	2,938,735	3,967,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,053,287	3,874,390

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は245,712千円減少し、売上原価は3,923千円減少し、販売費及び一般管理費は241,789千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高は5,498千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行なっておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,030,506	3,718,910	294,913	116,359	9,160,689	—	9,160,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,292	—	3,582	10,111	18,986	△18,986	—
計	5,035,798	3,718,910	298,496	126,470	9,179,676	△18,986	9,160,689
セグメント利益 又は損失(△)	859,621	130,866	195,158	△8,788	1,176,858	△478,557	698,300

(注) 1 セグメント利益の調整額△478,557千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	5,349,001	—	—	—	5,349,001	—	5,349,001
食品添加物	—	91,697	—	—	91,697	—	91,697
機能性食品	—	3,883,487	—	—	3,883,487	—	3,883,487
切花活力剤	—	150,706	—	—	150,706	—	150,706
製パン等	—	—	—	165,061	165,061	—	165,061
顧客との契約から 生じる収益	5,349,001	4,125,890	—	165,061	9,639,953	—	9,639,953
その他の収益	—	—	287,200	—	287,200	—	287,200
外部顧客への売上高	5,349,001	4,125,890	287,200	165,061	9,927,154	—	9,927,154
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,868	—	2,979	15,005	22,853	△22,853	—
計	5,353,869	4,125,890	290,179	180,066	9,950,007	△22,853	9,927,154
セグメント利益	574,200	352,954	267,342	3,705	1,198,203	△451,310	746,893

(注) 1 セグメント利益の調整額△451,310千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「精糖」の売上高は242,524千円、「機能性素材」の売上高は3,188千円それぞれ減少しております。なお、「精糖」「機能性素材」のセグメント費用が同額減少するため、セグメント利益に与える影響はありません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。